
長岡駅前 + メタバーズ もくもく会企画

— 大平 美希 —

目的と背景

- 駅前の活性化
- 人々が集まる場の創出と地域の魅力向上
- 学生と社会人、さまざまな世代が交流するプラットフォーム構築

⇒もくもく会の計画

connpass(<https://connpass.com/>)を見ても長岡での開催があまりない

長岡でも学べる、交流のできると認識され、人が集まれる場を作る

＋まずはメタバースで雰囲気の確認や集合場所に

もくもく会とは

“もくもく作業”を目的とした集まり

各自が自由に作業を進めながら、ゆるやかに交流

目的: 作業に集中する時間を確保

他者とのつながりを感じながら、モチベーションを高める

流れ: 作業目標を共有 ⇒ 各自作業、勉強 ⇒ 成果の共有

もくもく会の基本計画

1. 定期的な開催

リアル会場: まちなかキャンパスなど

メタバース会場: MetaLifeなど

定期的な開催で「集まる」習慣を作る

スケジュール例: 毎月第2土曜日など



まちなかキャンパス長岡 ホームページ
まちキャンをつかうより 302会議室

※使用メタバースイメージ

2Dで使用や操作の
ハードルが低い
メタバースを利用する

MetaLifeホームページ

教育利用の紹介ページ より

01

話が膨らむ、
距離が縮まる。

利用者全員がアバターとなってひとつのスペースに参加します。誰かに話しかけたい時はアバターを近づけるだけ。
現実の教室に集まっているかのようなリアルな体験を、オンラインでも。



02

授業もホームルームも、
これ一つ

MetaLifeにはあらゆるニーズに対応したスペースが用意されています。

集団授業、個別指導、グループワーク、ホームルーム。
個性を活かしたオリジナルスペースの制作も。



もくもく会の基本計画

2. 現地での特別開催

数か月ごとに駅前カフェ内で集まる会を実施

駅前エリアに出向き、現地での魅力を発見する機会を提供

“たまには駅前で集まる”という動機付けを強化

3. メタバースとの融合

子育て等、さまざまな事情で、毎回駅前に出向くことのできない方も参加

メタバースを活用し、遠くでも“つながり”を感じられる環境を提供

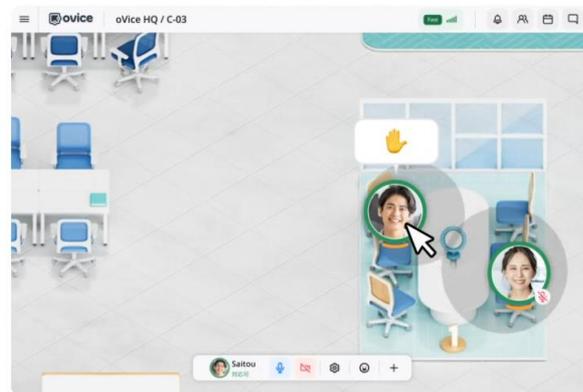
メタバースの活用

コンセプト

“近くにいる”感覚を遠くからでも体感
バーチャル会場を活用したもくもく作業

具体例

アバターを用いた雑談タイムや進捗共有
地元の風景を背景にすることで親しみを演出



oviceホームページ

機能一覧ページより

参加者の多様性

子育て中の方への配慮

オンライン参加可能

短時間でも気軽に参加できる柔軟なスケジュール

学生と社会人の接点

学生 : 新たな学びの場として活用

社会人 : 若い世代との交流を通じた刺激



子どもと参加するイメージ

効果と期待される成果

1. 駅前エリアの活性化

イベントを通じて駅前エリアの利用頻度向上
駅前カフェや商業施設の利用促進

2. 地域コミュニティの強化

世代を超えた交流
子育て世代や介護者の社会参加のきっかけ作り



駅近くカフェで撮影したラテ

今後の展望

- 参加者の意見を反映し、内容や形式を柔軟に調整
- 地域企業や行政との連携を強化
- 長期的には観光資源との連動も視野に入れる



福島江沿いで撮影した桜

引用元、素材元

まちなかキャンパス長岡

<https://www.machicam.jp/shisetsu/shisetsu3f-302.html>

MetaLife

<https://metalife.co.jp/education/>

ovice

<https://www.ovice.com/ja/features>

フリー素材ぱくたそ

<https://www.pakutaso.com>

カフェ写真、桜写真: 大平が撮影